

野岸小だより

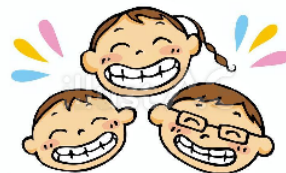


小諸市立野岸小学校NO.4
令和4年6月30日 発行
校長 丸山 穂

梅雨に入りましたが、もうすぐ梅雨も明けそうな毎日の暑さです。今年の夏は、またまた猛暑の予報です。熱中症にも気を配りながらの学習になります。

運動会を終えて

天候にも恵まれ、6月4日に運動会を開催することができました。お子さんの活躍の様子はいかがだったでしょうか。頑張った自信が、いろいろな場面で活かせるように、学校でも工夫していきます。ご家庭でも、そんな場面を創っていただけるとありがたいです。



今年も半日開催で、昼食はとらない日程にしました。テント設営も最小限にして、校庭周辺部のほとんどの場所から参観可能にしました。コロナが収まってきた場合でも、日程や参観方法は、来年度以降も同様にしていきたいと考えております。

臨舟先生の書写指導

今年も臨舟先生に書写指導をしていただいています。字を書く指導を、一人一人に合わせて声かけをしてくれたり、ポイントを教えてくれたりと、私たちが普段お授業で大切にしていきたい「個に寄り添った指導」をしてくださいます。道具のお話や漢字の成り立ちが字の形にも関係していること、「手習い」の前に、どこまで伸ばすか、どこで交わっているかなど、お手本をよく見る「目習い」も大切であることなど、職員も勉強になることもたくさん教えていただけています。一人一人に名前入りのお手本を書きただけなので、野岸小の子どもたちは、名前までしっかり書くことができると評価をいただいています。優しく熱心なご指導ですので、子どもたちからも慕われ、先生がお帰りになるときに、玄関に居合わせた子どもたちが「臨舟先生ありがとうございました」とニコニコ顔で送ってくれます。



水泳学習開始 6/15～

運動会終了後、すぐに各学年によるプール掃除が始まり、綺麗な水を張って、6/15(水)にプール開きとなりました。この週は、天候の関係で水温が上がらず、実際にプールに入ることができたのは、20日(月)からとなりました。プールには入れるかどうか、朝から天気と気温を気にしている子、校長室に遊びに来て「3時間目プールだから!」と早めに片付けて教室に向かう子など、多くの子が楽しみにしています。思い切り体を動かして、夏しかできない豊かな学びをしてほしいです。



お掃除を見学に

前回、素晴らしい清掃の姿を紹介しましたが、野岸小学校のお掃除を自校の清掃に活かしたいと、他校の児童会役員さんが見学に来ました。チャイムが鳴って掃除場所へ向かう様子、黙想の時間で各自が静かに今日の目標を考える姿、黙々と集中して清掃に取り組む姿などを実際に見学し、驚いていました。見学した内容を持ち帰って、自分たちの清掃をレベルアップするために、児童会から提案していくそうです。野岸小学校の皆さんの姿が、他校のお手本となっていることに、喜びと自信をもって、これからも素晴らしい清掃を続けてもらいたいと思います。



マスク着用 感染予防と熱中症対策

ニュースでも話題になっていましたが、文科省から、マスクを外すことができる場面の通達が出ています。コロナの状況が落ち着いていることと、熱中症防止への対応が大きな理由です。しかし、どの項目にも、「地域の新型コロナの流行状況を見ながら」という内容がついています。本校としては、マスク着用について次のように考えていきます。

- ・基本的には、今まで通りの着用方法をとります。
- ・熱中症が心配される場面では、熱中症予防を優先してマスクを外して、会話や間隔に留意しながら学習します。

佐久圏域のレベルは3になりました。小諸市でも罹患者は少し増えています。感染防止の工夫をしながら学校生活をしていきたいと考えています。

「野岸」のなぞ ～6/16 校長講話より～

なぜ「野岸小」というのか、私が赴任したときから不思議に思っていました。校長室の書物を調べてもわかりません。近所の方に聞いても、見守り隊の方に聞いてもわかりませんでした。職員のひとりが、「島崎藤村が、明治32年に小諸の『東野岸』に引っ越してきたという記録がありました。」と探し出してくれました。「東野岸」があったのなら「野岸」もあったのかも…とさらに調べていると、それを聞きつけた市立図書館の方が、明治初期の小諸の地図のコピーを届けてくれました。なんと、「野岸」という字名もしっかりありました。「坂ノ上」という字名もあったので、小諸で最初にできた小学校を二つに分けたときに、建てた場所の名前の小学校を創ったということもわかりました。でも、そもそもなぜ「野岸」という名前なのでしょう。それも市立図書館からいただいた資料に載っていました。むかし、山の裾野の一番端の所を「ねぎし」と呼んでいたのだそうです。本校も浅間山の裾野の一番下にあたります。「ねぎし」が徐々によびやすい「のぎし」に変化し、漢字を当てはめたものが「野岸」なのだそうです。これですっきり謎が解けました。…というお話をしました。子どもたちも納得できた様子でした。地域のことを知ることは、楽しいことですね。

